ASBJ

第 576 回企業会計基準委員会

資料番号	審議事項(2)-4
日付	2026 年 5 月 14 日

プロジェクト	金融資産の減損に関する会計基準の開発
項目	第 575 回企業会計基準委員会で聞かれた意見

本資料の目的

1. 本資料は、第 575 回企業会計基準委員会（2026 年 4 月 22 日開催）において、簡素化された予想信用損失の算定方法における信用リスクの著しい増大の判定に関する検討について聞かれた意見をまとめたものである。

聞かれた意見

2. 企業会計基準適用指針公開草案第 88 号「金融資産の予想信用損失に係る会計上の取扱いに関する適用指針（案）（以下「予想信用損失適用指針案」という。）を修正する事務局の提案は適切であると考える。

3. 審議資料(1)-2 第 21 項における「各社における新規貸付に関する実務を踏まえると」という記載について、その趣旨を確認したい。

4. 審議資料(1)-2 第 21 項について、結論の背景に例示を記載した場合には当該内容に実務が影響を受ける懸念がある。このため、「各社における新規貸付に関する実務を踏まえると」という趣旨を記載するに留めることが適切と考えられる。結論の背景の文言については、文案検討の段階において検討したい。

5. 事務局が提案した予想信用損失適用指針案の修正案について、債権単位で判定するという原則的な取扱いを簡素化された予想信用損失の算定方法において記載する趣旨について確認したい。

6. 第 254 回金融商品専門委員会において事務局の提案に多くの賛同が得られたとの認識でよいか確認したい。

7. 信用リスクの管理を債務者単位で行っている企業が信用リスクの著しい増大の反証方法に関する事務局の修正案を用いた場合、その適用にあたり、債権単位の信用リスク管理が必要となるかについて確認したい。

以　上